

ISL Conference Proxy 4.1.2 (2015.3.10)

【ISL Conference Proxy 4.1.2】

● 新機能および改善事項

- ◆ データベースの管理システムに PostgreSQL を採用したことにより、データベースへの書き込み速度、安定性が向上しました。
- ◆ サービス「ISL Conference Proxy」はユーザー「islcp」によって実行されます。
- ◆ インストール時にローカルシステムアカウントによって実行されるサービス「ISL Conference Proxy upgrade」が作成されます。
- ◆ セキュリティ強化のため、ユーザーのパスワード情報が暗号化保存されるようになりました。
(既存のユーザーの暗号化を行うにはパスワードを再度設定してください)
- ◆ プロダクトログインページ内に履歴が追加されました。(Web 会議の履歴はご利用いただけません)
- ◆ アップデート時に、必要のない古いバージョンのプログラムやモジュールが削除されるようになりました。
- ◆ 一斉グルーピングが実行できるようになりました(詳細は『[ISL AlwaysOn 大量導入マニュアル](#)』をご参照ください)

● 修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、SSL 2.0 および SSL 3.0 による SSL 接続を廃止しました。
(「SSL 3.0」までしか使用できないブラウザではプロダクトログインページには通信が行えなくなります。「TLS 1.0」以上が利用可能なブラウザでご利用ください。)

● 制限事項

- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット(すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」) 実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの履歴ページ内の[エクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの履歴ページ内の一部に英語が表示されます。

【ISL Light 3.5.5】 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更点はありませんが、一部不具合が修正されました。

● 新機能

- ◆ Windows 8 または 8.1 への接続を行った際、オペレータ側で[ツール] > [デスクトップドライバ]から以下の2つから選択できるようになりました。
 - Desktop-duplication-API を利用する
 - Desktop-duplication-API を利用しない

● 修正事項

- ◆ 「Desktop duplication API を利用する」の機能を改善しました。
(一部の環境で発生していた、Windows 8 または 8.1 に接続するとデスクトップ共有画面の一部しか見えなくなる現象が解消されました)
- ◆ Caps Lock が有効になっている端末にリモートで接続後、接続する側で Caps Lock を有効にすると、正しく大文字が入力できない現象を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP で、[設定]→[音声設定]画面で音量を変更してもメインウィンドウの音量に反映されません。
- ◆ ISL Recording Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示され、インストールできません。
- ◆ ISL Light の画面共有ウィンドウ上でレコーディングを停止すると「見る」ボタンが表示されますが、現状では、再生ソフト(ISL Player)がダウンロードされるだけで、ファイルは自動的に再生されません。ファイルを再生するには ISL Player を起動し、メニューから直接ファイルを開く必要があります。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ Microsoft Windows Server 系 OS でのビデオチャットおよび音声チャットの使用はサポートしていません。
- ◆ 「コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示」にチェックを入れている状態で、Windows 7 32bit 上のコマンドプロンプトを実行すると異常終了します。
- ◆ 64bit の Windows マシンでは、遠隔プリントは対応しておりません。
- ◆ 遠隔プリンタの利用時は、リモート PC に管理者権限でログインする必要があります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ Windows 8 および Windows 8.1 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) にホワイトボードに

よる書きこみを行うことはできません。

- ◆ Windows 8 および Windows 8.1 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に ISL Light で接続した場合、「セッション再接続を有効にする」は使用できません。

【ISL AlwaysOn 2.2.3】 for Windows

● 新機能

- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合にも、ホワイトボードが利用できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダ）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 「メインウィンドウを非表示にする」の接続オプションを有効にすると、共有画面の右下に出るメッセージウィンドウが英語で表示されます。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] > [シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

【ISL Groop 3.0.3】 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更点はありませんが、一部機能が追加されたほか、一部制限事項が解消されました。

● 新機能

- ◆ Web 会議/セミナー作成時に、開始直後の画面レイアウトの設定ができるようになりました。
- ◆ 登録済ユーザーページに[ユーザーを登録]ボタンが追加されました。オーナー側で参加者を登録できるようになりました。

● 修正事項

- ◆ 登録済ユーザーの一覧を[CSV にエクスポート]ボタンから出力すると、CSV ファイル内の日本語が文字化けする現象を解消しました。
- ◆ 会議の作成および編集を行う際に、開始時間をカレンダーから設定することができない現象を解消しました。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ エクスポートを行う場合は、Microsoft PowerPoint 2007 以上が必要です。(Office 2003 のエクスポートは対応していません)
- ◆ Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのエクスポートはできません。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされている端末では、Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのインポートはできません。

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

【ISL Light 3.3.5】 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末に接続した際、特定のディスプレイのみを選択して表示できるようになりました。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に接続して画面共有を行った場合、Dock が点滅して表示されます。(2015.7.10 追記)
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ ファイル転送によるファイル（フォルダ）の「置き換え」はご利用いただけません。(2016.1.30 追記)
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「デスクトップの共有範囲の選択」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」、「レコーディング」
(なお、一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません(※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます(※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値（自動）になっている場合は、エラーメッセージが表示されます(※2)。

※1 詳細は、ヘルプデスク（ISL Light）マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター（ワンタイム接続に関する質問）ページをご参照ください。

【ISL AlwaysOn 2.2.3】 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に対応しました。
- ◆ 接続オプションに「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(従来の方式で接続を行う場合は、こちらを選択する必要があります)
- ◆ 接続までの時間がより短くなりました※
※新方式で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます。
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するには、ファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います。
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません
- ◆ 設定画面の[デスクトップ共有] > [詳細設定]に「ISL Light Client を利用する」が追加されました。
(設定を有効にするには、「デフォルトのサーバー設定を有効にする」のチェックボックスをオフにする必要があります)
- ◆ マルチディスプレイを使用した端末の特定のディスプレイを選択して表示できるようになりました
(使用するには ISL AlwaysOn の接続オプションで「ISL Light Client を利用する」のチェックを外す必要があります)
- ◆ プロダクトログインページの[その他] > [EXE 実行]から、Windows 端末に対し特定の EXE を（システムアカウントで）実行できるようになりました。
- ◆ Mac 端末に接続した際、セッション再接続が自動で有効化されるようになりました。

● 修正事項

- ◆ Mac の端末間でデスクトップ共有を行った際、Cmd+スペース、Ctrl+スペースのショートカットの送信が正常に機能しない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。(2015.12.15 追記)
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」

「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。

- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[レコーディング]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページで[その他] >[シャットダウン]実行後、.out のリンクをクリックして実行結果をダウンロードすることはできません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<http://www.islonline.jp/>

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

Pot za Brdom 100

SI-1000 Ljubljana

Slovenia, EU

URL: <http://www.xlab.si/>



ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1-20-8

寿パークビル 7F

URL: <http://www.oceanbridge.jp/>

